

発行：八戸市立市川中学校地域学校連携協議会  
 校長：馬渡教二 会長：小向龍悦

## 〈市川の歴史年表③〉

西暦	和 暦	で き ご と 等
1855	安政2年	安政の大地震。津波により、浜市川で子どもが3名死亡。
1856	安政3年	三カ所に御台場(砲台)が設置された。(現、五戸川河口付近等)
1864	元治元年	盛岡藩産物番付で、市川塩曳が前頭にランクされる。
1870	明治3年	<u>斗南藩領</u> となる。(明治元年には、弘前藩・黒羽藩・盛岡藩領)
1872	明治5年	轟木村に與兵衛という富豪あり。家族は37人、牛馬14頭、宅地1町4反(板堀で囲まれた屋敷は4町6反)、田11町7反、畑15町1反(新撰陸奥国誌：第六十八)
1872	明治5年	下市川村の家数158。支村：轟木40、和野17、新田15、赤畑4、尻引23、向谷地7、水目沢3、桔梗野23、高屋敷14。(この記事が掲載された「新撰陸奥国誌」の発行は明治9年)
1875	明治8年	10月29日、 <u>下市川小學</u> (現・多賀小学校)が願叶庵に仮設。初代校長は、旧会津藩士の林忠蔵
1876	明治9年	5月5日、 <u>轟木小學</u> が清麓堂で開校。生徒数は男子34、女子2、計36名。初代校長は、旧会津藩士の藤澤茂助
1878	明治11年	下市川村167戸(1,251人)、支村：轟木44戸(358人)、和野17戸(145人)、新田17戸(131人)、赤畑4戸(31人)、尻引24戸(188人)、向谷地7戸(45人)、高屋敷14戸(83人)、桔梗野18戸(62人)
1878	明治11年	下市川村・上市川村・切谷内村が一村となり、上市川外二ヶ村は、戸長用所(役場)を上市川に置く。
1880	明治13年	市川山願成寺が開創。前身は願叶庵または願叶寺で、1646年(正保3年)開基。
1882	明治15年	下市川小學の児童数は、男子62・女子2 計64名
1885	明治18年	轟木小學の児童数は、男子90・女子31 計121名
1885	明治18年	上市川・轟木・下市川3小学連合「学業奨励試験」実施
1886	明治19年	下市川小學が「 <u>多賀尋常小学校</u> 」に改名。校長は林茂樹
1886	明治19年	奥入瀬川両岸の高屋敷と百石に「幸運橋」がかけられる。
1889	明治22年	市町村制施行で、下市川村が、 <u>三戸郡市川村</u> になる。

八戸市立市川中学校地域学校連携協議会教育コーディネーター：木村 隆一

参考資料：「日本歴史地名体系②」 「新編八戸市史・地誌編」  
 「百石町史」 「五戸町史」 「流れる五戸川」 ほか

